

## 絵画のすばらしさを感じ、環境問題について考えたひととき

～風景画家「ブライアン・ウィリアムズさん」を招いて～

2月18日(金)の放課後、滋賀県在住の風景画家であるブライアン・ウィリアムズさんをお招きして、希望した生徒が、環境問題に関するお話を聞いたり、絵の実演を見せていただいたりしました。



まずは、みんなを椅子の上に立たせて、「物事は見る場所を変えると、見え方も変わる」のだと教えてくださいました。実際、ブライアンさんは、絵をかくとき、高いところで作業ができる高所作業車を使っているそうです。

次は、環境問題のお話。ブライアンさんは環境問題にも関心をもっておられ、絵を通して環境問題に対する提案もされています。特に地球温暖化の問題にふれ、私たち人類が土地の管理を適切に行って、緑を増やしていくことは大きな解決策であると強調されました。屋

上なども含めてあらゆる場所で緑を増やして、光合成の働きを促進させることが大切だと繰り返しお話をされました。

そして、最後は絵の実演。比叡山に落ちる夕陽と夕陽に輝く雲や湖を、あっという間に見事なタッチで表現されました。さらに、生徒数名に、その絵の中に草木を描いてみるよう指示をして、アドバイスもしていただきました。



☆雲や湖が光り輝く様子が一瞬にして描かれていって、感動した。また、パレットでなく、紙に重ね塗りをしながら色を作っていくところがすごいと思った。

☆人間が快速に過ごそうと考えると、地球温暖化が進み、生物・環境に影響をもたらしてしまうことを学びました。ブライアンさんの描く美しい風景を「過去のもの」にしないように、自分が地球のためにできることを、もう一度考えたいと感じました。

(生徒の感想より)



第28回よりよい水環境づくり  
ポスターコンクール  
教育委員会教育長賞 2年生徒作品



過日、実施しました学校評価について、評価結果をお知らせします。  
アンケート結果やいただいたご意見を参考に、今年度の学校運営をふりかえり、次年度以降に活かしていきたいと考えています。保護者の皆さまにおかれましても、ご家庭・地域での教育に活かしていただき、引き続き、すべての子どもたちの健やかな成長のため、ご協力をお願いします。

## 保護者アンケート結果

■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない ■わからない

学力向上、わかりやすい授業づくりへ取り組んでいる。	14	57	10	1	18
体力づくり・健康安全の向上に取り組んでいる。	15	61	12	1	11
家庭との連携を適切に行っている。	20	62	13	1	4
学校通信やHP等で、活動をタイムリーに伝えている。	30	57	8	0	5
清掃活動等、勤労・奉仕の心の育成に取り組んでいる。	13	55	15	1	16
授業や行事を参観する機会をよく設けている。	28	53	16	1	2
命の大切さや人権尊重の意識を育成しようとしている。	19	56	9	1	15
いじめのない学校・学級づくりに努めている。	15	53	13	0	19
学校へ行くのが楽しいと感じている。	31	49	14	5	1
社会のルール、適切な判断、責任等の力がついてきている。	24	62	10	2	2
読書に取り組む等、知識を広げようとしている。	20	39	30	9	2
地域行事への参加等、地域とのつながりを意識している。	6	22	49	17	6
家の人と、良好な対話ができている。	36	55	7	1	1
家は自分にとって必要な力の育成に努めている。	21	68	8	1	2
家では、家庭の一員としての役割を与えられている。	20	51	26	2	1

アンケートを通しての、学校としての主なふりかえりは以下のとおりです。

- わかりやすい授業づくりについては、校内研究の柱にも位置づけ取り組みました。さらに、生徒が主体的に取り組み、学びが実感できる授業づくりに努めます。
- いじめのない学校・学級づくりや命の大切さ・人権尊重の意識の育成は、安心して学べる環境づくりのための大切な視点ですが、さらに重点的に取り組みを進めます。
- ご家庭における親子の対話に関しては比較的良好ですが、思春期でもあるお子様の気持ちは不安定ですので、引き続きお話を聞いていただく時間を少しでも設けていただき、家庭と学校とが情報を共有して協力していけるよう努めていく必要があります。
- 地域行事への参加は、コロナ禍の影響が大きく低迷しています。地域の方からは、あいさつ運動等で協力いただいておりますが、学校の状況がよくわからないとの声も少なくありません。生徒たちが地域の一員として社会参画意識を高め自立していくためにも、コロナの感染状況に注視しながら、体験活動を含めた地域学習を全校的に進めていきます。
- 昨年度の結果は紙面の都合上、お示しできませんでしたが、比較して肯定的な回答が増えた主な項目は、「授業や行事の参観する機会(14P 増)」「家庭との連携(12P 増)」「学力向上(3P 増)」でした。一方、肯定的な回答が減った主な項目は、「地域行事への参加(8P 減)」「学校へ行くのが楽しい(4P 減)」「いじめのない学校・学級づくり(3P 減)」「家庭の一員としての役割(3P 減)」でした。



2年生徒美術作品  
和菓子